

幼児の教育 第八十三卷 (昭和五十九年度)

総目次

◆一号

- 魅せられるもの——一九八四年、いま、ここに——
 河辺 泉
 保育の原点をさぐる 三宅 廉
 新しい人よ眼ざめよ——絶望の時代に希望を見る—— 本田 和子
 日本におけるスポーツの夜明け——日本の女子陸上界・硬式テニスを中心に——
 平野 久子
 福田富美子
 いろいろなことを教えてくれる子どもたち ① 村石 京子
 赤本「鼠の嫁入」にみる教育的位置と多様性 森下みさ子
 子どもの作文から

◆二号

- 倉橋賞受賞研究——幼稚園における障害幼児の集団適応の研究—— 平岩定法・他
 就職シーズンに思うこと 佐藤 文字
 なぜ「みんないっしょ」なのか——望ましい幼児教育への問い—— 伊藤 隆二
 韓国幼稚園教育(一)——創立期の特徴—— 李 相琴
 幼がたり——流れと雑魚—— 川崎 千東
 しもやけ 豊田 一秀
 管見・フランスの子どもたちの世界——規範のしつけの問題を中心に—— 宮島 喬
 子どもの作文から 津守 真
 閉じた世界が開ける体験 津守 真
 近代短歌に現われた子ども(十一)

◆三号

- 遙けきかな…… 日名子太郎
 幼少時の談叢 山西 貞
 近代短歌に現われた子ども(十七)
 大塚 雅彦
 穴の向うの世界 立川多恵子
 韓国幼稚園教育(二) 李 相琴
 まわるものへの関心 津守 真
 いろいろなことを教えてくれる子どもたち ② 村石 京子
 子どもの作文から
 遺伝と環境——D・フリーマンのM・ミード批判に寄せて—— 足立 寿美
 ニュージーランドにおける就学前教育の歴史ならびに現状(五) 松川由紀子
 ◆四号
 これからの子どものために 関口はつ江
 私の幼児教育論——子どもの文化としての音楽と遊び—— 永田 栄一
 園長室の窓から 市原 豊子
 写真に寄せて 阿久澤栄太郎
 年少讃歌——Sちゃんに—— 藤本美穂子

私の保育―春に想うこと― 江口 明子
韓国幼稚園教育(二二)―戦後の動向―

李 相琴

研究会に参加して

守永 英子

昔話への招待①―「瓜姫」の昔話をめぐ

って―

上野 泰子

ニュージールランドにおける就学前教育の

歴史ならびに現状(六) 松川由紀子

◆五号

子どもの心をらくにする保育を

秋山 和夫

穴の向うの世界(II)

立川多恵子

雛祭への提言

石沢 誠司

私の保育

藤塚 岳子

園長室の窓から

市原 豊子

細く長く続けるといふこと―遊びを見つ

める会―

入江 礼子

いろいろなことを教えてくれる子どもた

ち③

村石 京子

私の娘

三上 祝子

写真に寄せて・下萌

阿久澤栄太郎

ニュージールランドにおける就学前教育の

歴史ならびに現状(七)

松川由紀子

倉橋賞受賞研究―事故頻発傾向児に關す
る研究― 植屋 悦男

◆六号

幼児の活動

神沢 良輔

私の幼児教育論

松平 信久

園長室の窓から

市原 豊子

カメの実像と虚像

千石 正一

「人見知り」再考

小川 清実

写真に寄せて―下萌―

阿久澤栄太郎

「幼児教育の基礎理論」を翻訳して思う

こと

森上 史朗

絵本をめぐる紙一枚向うの幻想

森下みさ子

三歳未満児の探索活動 穴への関心

今井 和子

ニュージールランドにおける就学前教育の

歴史ならびに現状(八)

松川由紀子

◆七号

幼児教育に対する期待と不安

太田 次郎

教育改革にのぞむもの一言

堀合 文字

幼稚園教員免許の改正案

岡田 正章

「しつけ」の理論について

波多野完治

いろいろなことを教えてくれる子どもた
ち④ 村石 京子

△子どもと環境▽

くらしに顔を出した小さな動き、大きな

動き

泉本 晋一

父とまんとみ幼稚園

近藤千恵子

児童公園・遊園をめぐって

植田 敦子

階段のある園舎と子ども

黒田 成子

幼児施設の計画視点

小川 信子

近代短歌に現われた子ども(十八)

ニュージールランドにおける就学前教育の

大塚 雅彦

歴史ならびに現状(九)

松川由紀子

◆八号

豊かな時代に生きる知恵が未来をひらく

清水美智子

特集・夏休み緑蔭図書紹介

鬼頭 宏・木岡 昭子・伊藤 順子

館 かおる・中村 弓子・渦岡 謙一

ブリュッセルの「子供の遊戯」13

西洋美術史にみられる「子供の遊戯」

小史 森 洋子

小さなできごとから

松井 とし

神賀忠吾氏の世界(一)

江波 諄子

◆九号

専門職としての保育者 高橋さやか
本当の引越しまでの「大きなおまけ」

私の保育 赤羽美代子
歌の中から 田口 玲子
園長室の窓から園長と移動 長谷川冴子
養護学校の日日 原口 純子

学年末から新学年度へ 津守 真
いろいろなことを教えてくれる子どもたち

ち⑤ 村石 京子
私の幼児教育論 鏡のたわむれの中で、ひとは無限に表面に在る 亀井観一郎
アメリカと日本の幼児教育を見学して

兎園随筆① 黄色い兎 蕪木 寿江
ニュージーランドにおける就学前教育の歴史ならびに現状(十) 松川由紀子
◆十号
これからの幼児教育 河野 重男
私の幼児教育論(上) 高杉 自子

私の保育

鈴木 知子

△子どもと衣服

園服再考 入江 礼子
子どもが園服を脱ぐ時 宮里 暁美
園服史におけるエプロン点描

幼稚園の制服 森下みさ子
幼稚園の制服 田中三保子
神賀忠吾氏の世界(II) 蕪木 寿江
宗教人類学からみた子ども(1) 江波 諄子

怪物の話 関 一敏
近代短歌に現われた子ども(十九)

◆十一号 大塚 雅彦
「キンケン」または本物体験のこと 問藤 侑
宗教人類学からみた子ども(2) 関 一敏
空に何ものかの現われる話 大塚 雅彦

近代短歌に現われた子ども(二十) 関 一敏
昔話への招待 大塚 雅彦
なまけ者 讚 大澤 京子

兎園随筆③—確かさのむこう—

蕪木 寿江

シンボジウム 倉橋惣三の人と思想 津守 真・安戸健夫
李 相琴・本田和子

◆十二号
みえない世界のことを 河辺 泉
詩 こんなにも 矢崎 節夫

私の幼児教育論(下) 高杉 自子
園長室の窓から 原口 純子
いろいろなことを教えてくれる子どもたち

ち⑥ 村石 京子
近代短歌に現われた子ども(二十一) 大塚 雅彦
保育実習生のノートから①
ブリュッゲルの「子供の遊戯」14 森 洋子

書評『自我のめばえ』 友定 啓子
兎園随筆④—園児たちの家出— 蕪木 寿江
第八十三巻総目次